

だいじなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう



学校だより

くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子

運動会のステージは万全！ 親子愛校作業・桜ノ丘プロジェクト お世話になりました

軽トラック、刈り払い機、熊手、そして参加して下さった皆さんの力をフル活用して、予定通りの時間でほぼ作業を終えることができました。グランド周りのぼうぼうの雑草、フェンスから道路に伸びていた枝などもとても丁寧に刈っていただき、見違えるようにきれいになりました。企画・運営に当たってくださったPTA役

員さんはじめ、保護者の皆さん、地域の皆さんには、早朝より本当にお世話になりました。運動会まであと1週間 ステージは整いました。

皆さんがこしらえてくださったステージで、79人全員がすてきな本番を迎えられますように…。

今週に入り、体育の授業だけではなく、朝も、各教室から大きな歌声が聞こえてきます。昼休みも応援の練習。疲れがたまっている頃ではないでしょうか。

睡眠、栄養、励ましのことは、よろしくお願ひいたします。



4・5・6年生のソーラン節練習

Topic “最近のパチリ”



【苗を植える1年生】

シャベルを構える1年生。「何植えるの?」と尋ねると、「ミミ…」ミニトマトのことでした。きゅうりと枝豆も植えたとのこと。



【カタルパの花】

南門そばのカタルパが花をつけました。合志市にとって歴史ある花です。レース様の花びらの可憐な花に癒やされます。

“ともに学び、コミュニケーションを楽しむ児童の育成” を目指して授業づくりに取り組んでいます

運動会一色とは言え、日々の授業も大切です。時代の変化とともに学校教育においても「新しい時代に必要な資質・能力」という視点から内容等の大幅な見直しが図られました。外国語の正式教科化もそのひとつです。(ただし今は移行期間中の対応段階です)

そんな中で5月9日(水)に、2年の木下教諭が「お手紙」という文学作品で研究授業を行いました。この授業のウリは、コミュニケーションの活性化を図るためのボード

ミーティングです。ホワイトボードに貼ったり書いたりした自分の考えをもとに班の友達と話し合いながら、登場人物の様子や気持ちを読み深める活動です。ついこの間まで1年生だった子どもたちが、ホワイトボードを囲んで意見交換する姿、とても頼もしかったです。



ホワイトボードを囲んで話し合う2年生

あいさつの“質”にこだわっています

素直で屈託のない子どもたちですが、挨拶がやや苦手なようです。まずは自分からあいさつ、気持ちを込める、立ち止まって…そんな姿を目指しています。

こんなご時世なので、見知らぬ人への挨拶は危険という考えもありますが、来校された方、お世話になったには挨拶をしてほしいもの。

あいさつはコミュニケーションの入り口です。子どもたちには日本一のあいさつ上手になってほしい！と熱い期待を抱いています。お宅ではいかがでしょうか。